

2023年度の事業計画と予算(案)

2023年1月20日

日本機械学会関東支部シニア会会長

鳥毛 明

1. 2023年度運営委員会構成
2. 2023年度関東支部シニア会の事業計画(案)
3. シニア会2023年度予算(案)
4. 事業計画資料
 - ・2023年度関東支部学生卒業研究発表会コメンテータ派遣(1/3)(2/3)(3/3)
 - ・学生会との対話会
 - ・「エンジニア塾」
5. シニア会活動へのご支援・ご協力をお願い(1/2)(2/2)

1. 2023年度運営委員会構成

(シニア会運営委員会で選任)

会 長 鳥毛 明
幹 事 高屋 真二
顧 問 中山 良一
顧 問 野口 昭治
委 員 新山 時弘
委 員 曾佐 豊
委 員 伊藤 裕道
委 員 四阿 佳昭
委 員 平澤 茂樹
委 員 福地 真理夫

以上、任期は2年とし再任は1回まで

(支部運営会で4月以降選任予定)

監 事

支部シニア会担当幹事

学生会担当幹事

以上、任期は原則1年とし再任は1回まで

担当職員：渡邊 賢太(関東支部事務局)

2. 2023年度関東支部シニア会の事業計画(案)

4/12

項目と目的	計画	備考
1. シニア会主催行事・運営委員会		
1-1) シニア会総会の開催 年度活動成果と次年度計画の報告と承認 付帯行事(特別講演会など)を開催する	年1回(2024年1月)	
1-2) シニア会主催の特別講演会	2回(10月と1月)	
1-3) 見学会	2回(6月と11月)	
1-4) シニア会メンバーの交流会 シニア会員が保有する技術・経験などの話題の提供	2回(7月、11月)	昨年度より1回削減
1-5) 「シニア会たより」の発行	月次(12回)発行	シニア会員より投稿を募集中
1-6) 懇親会(費用は参加費)	総会1回、特別講演会1回、交流会2回 の合計4回	
1-7) 運営委員会の開催 シニア会会務の企画・運営の推進	3, 6, 9, 11, 12月を目途に開催する。 3月は引継ぎ&年度計画と担当の確認	
2. 支部活動に対する支援・学生会との交流会 [コメンテータ及び人生の先輩として学生との交流を図る]		
2-1) 関東学生会第62回学生員卒業研究発表講演会 2023年3月16日 Web開催	シニア会員コメンテータ派遣 学生会との対話会	準備中(シニア会員コメンテータ 24名以上確保が必要) 準備中
2-2) 学生会との交流会	2023年6月	新学生会役員が選出後調整のこと
2-3) 関東学生会第63回学生員卒業研究発表講演会 2024年3月開催	シニア会員コメンテータ派遣 学生会との対話会	12月末日に依頼が来る
3. 「エンジニア塾」 詳細は別途資料参照	3期目計画	運営委員募集する
4. 2022年度予算・決算	支部からの補助金予算 300,000円 (残額は支部会計に組み入れ) エンジニア塾塾生負担金あり。 懇親会は懇親会参加費で実施する。	

3. シニア会2023年度予算(案)

収入の部	費用	予算額	摘要
	支部からの補助金	¥300,000	
	総会懇親会参加費	¥60,000	計画3,000X20X1回
	特別講演会懇親会参加費	¥60,000	計画3,000X20X1回
	交流会懇親会参加費	¥120,000	計画3,000X20X2回
	エンジニア塾塾生負担金	¥15,000	計画1,000X15名 (参加塾生)
	合計	¥555,000	

支出の部	費用	予算額	摘要
	旅費交通費	¥35,000	会議関係
	総会会場費	¥20,000	計画1回
	総会懇親会	¥60,000	計画1回(参加費で充当)
	特別講演会	¥80,000	計画2回
	特別講演会懇親会	¥60,000	計画1回(参加費で充当)
	見学会費	¥10,000	計画2回
	交流会費	¥40,000	計画2回
	交流会費懇親会	¥120,000	計画2回(参加費で充当)
	エンジニア塾	¥100,000	見学会・会場費・資料・郵送費等
	雑費	¥15,000	永年会員案内
	予備費	¥15,000	
合計	¥555,000		

項目	予算額	摘要
収入の部	¥555,000	
支出の部	¥555,000	
残高	¥0	残高は支部に返金する。

2023年度関東支部学生卒業研究発表会コメンテータ派遣(1/3)

関東支部からの依頼状

BPAの説明

2022年12月27日

2022年12月

日本機械学会関東支部シニア会 御中

関東学生会担当幹事
松井純, 松谷巖

日本機械学会関東支部シニア会会員 卒研講演会コメンテータ及び学生優秀発表賞
〔Best Presentation Award (BPA)〕審査員の方々へのお願

【依頼】関東学生会第62回学生員卒業研究発表講演会へのコメンテータ
および学生優秀発表賞〔Best Presentation Award (BPA)〕審査員の派遣について

拝啓

シニア会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
昨年度の卒研講演会におきましては、コメンテータとしてご協力いただきまして、誠に
ありがとうございました。今年度の卒研講演会の実施予定は下記の通りとなっております。
引き続きご協力賜りたく、宜しくお願ひ申し上げます。

期日： 3月16日(木) 9:00～15:00
会場： Web開催
講演室数： 12室
講演数： 217件
セッション数： 各室午前2セッション、午後2セッション、総計48セッション

なお、コメンテータおよび学生優秀発表賞〔Best Presentation Award (BPA)〕審査員
をお引き受けいただける方には、予めご承知おきたい事項があり、別紙にまとめた
ましたのでご一読いただけますと幸いです。

敬具

学生たちが初めて取り組んだ卒業研究の成果発表について、長年のご経験から様々なア
ドバイス、優秀発表の審査がいただけるものと期待しております。卒業後、企業に就職し
技術者としてスタートする者、大学院にてさらに研究を進展させようとする者、様々です
が、どうか暖かくご指導いただければと存じます。さて、皆様には卒研講演会について下
記のようにお知らせいただきたい事項がございますので、ご一読の程お願ひ申し上げます。

- (1) 司会、タイムキーパーとも学生が行っております。発表10分、質疑応答5分とな
っており、発表者を含め、時間厳守するよう指導しております。
- (2) 時間の関係もあり、すべての発表に対してコメントしていただく必要はございませ
ん。
- (3) 全発表がBPA(ベストプレゼンテーション賞)の審査対象となっており、各講演室
に機械学会正員の審査員を配置しております。コメントに併せまして、学生優秀発
表賞〔Best Presentation Award (BPA)〕の審査もお願ひいたします。詳細は、別
紙「学生優秀発表賞〔Best Presentation Award (BPA)〕の覽書」、「学生優秀発表
賞(BPA)採点表」をご参照下さい。
今回はWeb開催のため、ご採点のご記入はWebによるものを準備しております。
詳細が決まりましたらご連絡させていただきます。
- (4) 学生による質問も奨励しております。
- (5) コメンテータの皆様には、
 - ・学生を勇気づけるようなコメント
 - ・発表した卒業研究課題が社会的、産業的に持つ意義に気付かせるようなご指摘
 - ・その課題の今後の発展として、技術的にどのようなことを期待したいか
 - ・社会に出たあとで技術者として研究開発をするうえでどのようなことに注意を払
ってほしいか
 などを通して、会場の議論を盛り上げることに協力いただきたく思います。

- (6) 学生は「新入社員以前」のスキルしか持っておりませんので、コメントに際しては
その点もご配慮の上、文言はお手柔らかに願います。直接的な否定的コメントは避
けてください。例えば
- ・示されているデータのサンプル数が少なかったり、条件が限定的であるように思
える場合
 - ×「もっと～なデータがなければダメだ。」
 - 「もっと～のようなデータも見てみたい。今後の実験で考えてみてください。」
 - 「～のような条件だとどのような結果が得られそうだと思いますか。」
 - ・ご自身の経験等から、発表で述べられた考察や結論に疑義がある場合
 - ×「その結果には納得できない。おかしいのではないか。」
 - 「今回の実験結果について、～のような見方もできるように感じますが、どう
思いますか。」
 - ・提案手法や実験方法に疑問がある場合
 - ×「そのようなやり方はダメだと思う。」
 - 「～のような手法も考えられるが、どう思いますか。」
 - 「～のような手法も考えられるが、検討はしましたか。」
 - ・図版や口頭での説明に不明瞭な部分がある場合
 - ×「～の部分かわからない。説明が不十分で発表としてはよくない。」
 - 「～の部分をもう一度説明してください。」
 - ・研究内容の今後の発展性や、産業への応用に疑義がある(見込みが薄いと感じら
れる)場合
 - ×「このようなことをしても(産業的には)意味がないと思う。」
 - 「今後のこの研究の展開や発展性、応用についてどう考えていますか。」
 - 「産業的には～のような点ももっと考えたらよいように思うので、今後検討し
てください。」

以上

一般社団法人日本機械学会 関東支部 関東学生会
学生優秀発表賞(Best Presentation Award(BPA))の覚書

BPAの説明(採点はWeb入力)

1. 総則
 - 1.1 関東学生会に学生優秀発表賞(以下BPAという)を設ける。
 - 1.2 BPAは将来の機械工学分野を担う学生の卒業研究発表を奨励するとともに関東学生会の更なる活性化を目的とし、学生会員の優秀発表者に贈賞する。
 - 1.3 BPAは、毎年3月本会が主催する卒業研究発表講演会において、優秀な講演を行った学生会員の登壇者に贈賞する。
 - 1.4 BPAの贈賞数の上限は特に設けないが、卒業研究発表講演会の2セッションを通じて2に定める審査により選出された受賞者に、懇親会席上等または送付にて関東支部長あるいは学生会担当幹事より贈賞する。
 - 1.5 受賞者については、日本機械学会誌あるいはその他関東支部の発行するメディアに名前を掲載し、長く栄誉を記録するものとする。

2. 受賞者の選出

- 2.1 受賞者の選出を行うために、BPA審査委員会(以下、審査委員会という)を設置する。
- 2.2 審査委員会は、原則として学生会担当幹事2名とする。
- 2.3 受賞者の選出は、審査委員会にて選出の審査員(合計3名)による。採点表は、審査委員会において審議の上、当該卒業研究発表講演会において配付する。
- 2.4 研究発表の審査項目は以下の通りとし、その評価点は審査委員会が決定する。

- (1) 口頭発表の優秀性
 - ・ 明瞭さ
 - ・ 論理性
 - ・ 理解のし易さ
 - ・ 質疑応答の回答的確さ
 - ・ 時間配分

- (2) 発表メディアの優秀性

- ・ 図表の正確さ
- ・ 図表の美しさ
- ・ 理解のし易さ

- 2.5 採点表はセッションごとに集計し、各会場の計時係は審査委員会に報告する。

3. 受賞者の決定及び発表

- 3.1 審査委員会は合議の上、受賞者を決定する。
- 3.2 受賞者の発表は、当該卒業研究発表講演会懇親会等または終了後通知にて行い、日本機械学会誌あるいはその他関東支部の発行するメディアに名前を掲載し、長く栄誉を記録するものとする。
- 3.3 懇親会等にて受賞者の発表を行う場合には、受賞決定者上記懇親会等への参加を促すため、決定と同時に受賞決定者一覽を講演会場付近に掲示することに努め、当該者へも速やかに連絡するものとする。

4. 表彰

- 4.1 表彰は発表と同時に終了後通知にて行い、受賞者には賞状と副賞を授与するものとする。
- 4.2 受賞者不在の場合は、後日賞状ならびに副賞を送付するものとする。

5. 覚書の改訂

- 5.1 本覚書の改訂等は、関東学生会担当幹事間の議を経て、支部運営会において審議・決定する。

附則 (第40回学生員卒業研究発表講演会(2000.3.16開催)より実施)

1. 2004年12月15日一部変更
2. 2018年7月4日一部変更
3. 2020年10月13日一部変更

【審査員用】

第62回学生員卒業研究発表講演会 学生優秀発表賞(BPA)採点表

講演第 _____ 室 講演番号 _____

最高得点者が複数いた場合の順位記入欄
 (特記事項)

項目	得点				
	良い ←				→ 悪い
(発表時)					
口頭発表の優秀性(明瞭さ・論理性・わかりやすさ・時間配分)	5	4	3	2	1
発表メディアの優秀性(図表の正確さ、図表の美しさ、わかりやすさ)	5	4	3	2	1
質疑応答(回答の的確さ)	5	4	3	2	1
全体評価	5	4	3	2	1
総計					

注1. 採点の無い項目は点数が0になります。必ず点数を付けて下さい。

注2. 小計、総計は計算していただきたく願いたします。

注3. 最高得点者が複数いた場合には、その順位を右上の欄にご記入下さい。

5点: 受賞に値する(是非受賞者として推薦したい)。
 4点: 受賞に値する(受賞者として推薦してもよい)。
 3点: どちらとも言えない(中庸である)。
 2点: 若干劣る面がある(改善すべき点が見られる)。
 1点: 劣る面がある(改善すべき点が多々見られる)。

注4. 採点の入力はWebによるものを別途E-mailにてご案内いたします。

「卒研発表会のスケジュール案」

Web講演 発表件数217件 12室平行開催 コメンテータ2名(AM, PM)=最大12室×4名(48名)

	第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室
9:00-10:15	1.計算力学 2件 16.情報・知能・精密機器 2件	15.ロボティクス・メカトロニクス 5件	2.バイオエンジニアリング 5件	3.材料力学 5件	5.流体力学 5件	5.流体力学 5件
10:30-11:45	16.情報・知能・精密機器 5件	15.ロボティクス・メカトロニクス 5件	2.バイオエンジニアリング 5件	3.材料力学 4件	5.流体力学 5件	5.流体力学 5件
12:15-13:30	12.設計工学・システム 1件 13.生産加工・工作機械 1件 14.生産システム 2件 17.産業・化学機械 1件	15.ロボティクス・メカトロニクス 5件	2.バイオエンジニアリング 5件	3.材料力学 2件 9.環境工学 1件 2.バイオエンジニアリング 2件	19.宇宙工学 3件	5.流体力学 5件
13:45-15:00	15.ロボティクス・メカトロニクス 3件	15.ロボティクス・メカトロニクス 4件	2.バイオエンジニアリング 5件	2.バイオエンジニアリング 5件	19.宇宙工学 3件	5.流体力学 5件

	第7室	第8室	第9室	第10室	第11室	第12室
9:00-10:15	5.流体力学 5件	6.熱工学 5件	10.機械力学・計測制御 5件	4.機械材料・材料加工 5件	11.機素潤滑設計 5件	22.スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス 5件
10:30-11:45	5.流体力学 5件	6.熱工学 5件	10.機械力学・計測制御 5件	4.機械材料・材料加工 5件	11.機素潤滑設計 5件	21.マイクロ・ナノ工学 3件
12:15-13:30	5.流体力学 5件	6.熱工学 2件 7.エンジンシステム 1件 8.動力エネルギーシステム 1件	10.機械力学・計測制御 4件	4.機械材料・材料加工 3件	11.機素潤滑設計 4件	21.マイクロ・ナノ工学 4件
13:45-15:00	5.流体力学 5件	18.交通・物流 3件 20.技術と社会 2件	10.機械力学・計測制御 3件	4.機械材料・材料加工 3件	11.機素潤滑設計 3件	21.マイクロ・ナノ工学 5件

シニア会員の皆様へ別途依頼中(全員へメール送信:Webにて公開)

【卒研発表会後の関東学生会－シニア会対話会 開催】

1. 目的：

卒研発表会は4年生が対象であり、既に就職が決まっている方もいるが、修士課程への進学者も半数程度はいるので、そのメンバーにとっては、就職へ向けての良いアドバイスを得る機会となる。

2. 開催日時：2022年3月16日（木） 15:00～16:15

3. 開催場所：Web開催（Zoom方式）

4. 出席者：

シニア会：

関東支部学生会の参加者：

5. 概要

PM15:00-15:05	学生会とシニア会について	シニア会長
PM15:05-15:25	学生会の質問と回答の説明	新山委員
PM15:25-15:55	エンジニアの先輩（経験談）	伊藤委員
PM15:55-16:05	幹事校（筑波大学）の研究室紹介とPR	学生会
PM16:05-16:15	質疑応答	全員

「エンジニア塾」

2022年度の関東支部「エンジニア塾」活動を活用して、本部より全国展開の企画案が示されている。

関東支部活動を参考にして、各支部で導入案を検討中。

なお、関東支部の実施内容については

前年同様の予定(共催の可能性あり)。

対象者は、

関東支部エリア内のジュニア会友(小学生10-15名程度)。

○遠隔開催でのメリット、デメリットを検討

- ・「塾」として、塾メンバー間の対話の活性化
- ・遠隔地間で、知識の共有化推進など
- ・対面時の会場確保に課題あり(運営コストの増加)

○運営メンバー

- ・シニア会運営委員が、従来全運営を担当
- ⇒2023年度以降は少し独り立ちできる体制へと展開し、シニア会メンバーから「エンジニア塾」を担当するメンバーを募集

「エンジニア塾」関東支部運営体制

<関東支部シニア会 会長>

「エンジニア塾」塾長+シニア会幹事+学生会担当

エンジニア塾運営メンバー(希望者)6-8名

希望者を募って、各行事を分担して実施予定
3月中に決定、4月以降の「エンジニア塾」の企画・運営を担当

「エンジニア塾」年間スケジュール
(2023年度案)

本部提案のスケジュール案

日本機械学会エンジニア塾		
北海道 東北 関東 北陸信越 東海 関西 中国 四国 九州 (可能な範囲で各都道府県)		
日程	実施イベント	実施形態
4月~5月	募集開始~応募締切~入学式	共通開催(オンライン/関東)
6月~7月	オンライン講義・ものづくり	共通開催(オンライン/関東)
7月~8月	ものづくりイベント・見学会	各地域で実施
	オープンキャンパス	各自で参加
8月7日	機械の日記念イベント	共通開催または各地域で開催
9月~11月	オンライン講義・ものづくり	共通開催(オンライン/関東)
12月	ものづくりイベント・見学会 個別フィードバック	各地域で実施
3月	修了書授与	共通開催(オンライン/関東)
翌年以降の8月	発表コンテスト	オンライン→優秀発表に表彰

2023年度予算案:対面活動の拡大により、
会議室使用料、交通費等の増加を踏まえて、
2022年度実績の3倍増:100,000円

シニア会発足から7年が経過し、2021/2022年度はコロナ禍で対面活動ができず、大変残念でした。2023年度はWithコロナでの対面活動とWeb開催の併用し、今後進めていきます。

【会員の皆様へのお願い】

- (1) 2023年3月16日(木)9～15時Web開催の関東支部学生卒業研究発表会へのコメンテータをシニア会員から募集していますので、多くの皆様の積極的な応募をお願い致します。応募される方は、次のGoogleフォームから応募の程お願い致します。
<https://forms.gle/HciuqDXCM2JcQAM39>
- (2) 関東支部シニア会主催小学生対象「**エンジニア塾**」は、来年度3期目の活動になります。小学生がエンジニアへの興味・関心・理解を醸成するために
- ① 科学博物館・会社・工場・研究機関の見学(含Web見学)
 - ② ロボット作りや簡単なプログラム作成する体験
 - ③ 学園祭を通じた大学等教育機関への見学
 - ④ 大学生との交流会
 - ⑤ 『ものづくり』と『ことづくり』についての解説
- 等の活動とレポートを通じて、ものをつくる楽しみや魅力を感じる活動になるため、シニア会会員の皆様のご協力頂きたく運営委員を募っておりますので、是非ともご理解の上 参加頂くようお願い致します。

- (3) ホームページでの「**シニア会たより**」も2年を経過し、
シニア会運営委員の執筆に依存している状況です。
シニア会会員の方々の幅広い投稿を掲載したく、積極的な投稿をお願いします。
投稿は、torige@jcom.home.ne.jp 宛にメール頂きますようお願い致します。

【投稿要綱】

- 投稿内容はご自身の体験など、おおよそ以下の分類(カテゴリ)
 - ・体験 ・機械 ・技術 ・自己啓発 ・趣味 ・スポーツ ・芸術 ・健康 ・その他(重複可)
- 記事は署名記事
- 文字数:800字程度
- 図、写真は可(但し、著作権などに注意のこと)

- (4) 見学会・特別講演会・シニア会メンバーの交流会につきましては、
聞きたい講演内容・講師について、自薦他薦でも構いませんので
提案願います。

皆様方が健康に十分留意されますよう祈念申し上げます。